



看護部紹介

～ 看護部理念 ～

川西赤十字病院の看護部職員は人々がより健康的なその人らしい日常生活を獲得できるようその尊厳と権利に最大限の配慮をしながら、看護の専門的ケアを提供する。

対象の精神的社会的な安全・安楽・自立を助け、対象の生活が健康の維持・増進・疾病の回復または疾病の障害への効果的な適応に向かうよう支援する。

看護部活動方針

看護職員として一人ひとりが社会人・医療チームの一員・専門職業人としての責任と役割を自覚し、信頼される質のよい医療（看護）を提供する。

看護部長 ご挨拶

看護部は病院理念でもある「地域住民とともに生きている喜びをわかちあえる医療」のもと、健康管理から在宅医療まで、患者様の安心と信頼が得られ、満足いただける看護を実践したいとの思いから、全看護職員が専門知識を深め、看護技術の向上を目指して日々自己研鑽に努めています。

当院の看護の売りは「訪問看護」です。また、健康支援講習会並びに幼児安全法講習会への講師、地域主催の強歩大会等の救護への派遣依頼を受けて、赤十字看護師として地域のニーズに応えられる医療・看護の提供を心掛けています。

一人ひとりの看護師が病院の大切な人財（財産）として、職員がいきいきと働けるようにするために卒後教育にも力をいれています。

さらに、働きやすい職場環境にするために、短時間正規雇用などワークライフバランスを考慮した勤務体制の利用も可能です。

私たちと一緒に働いて、「看護の楽しさ、看護する喜び」を感じませんか！！

ゆっくり！じっくり！患者も看護師も満足する看護を一緒にしませんか！！

皆様の力を是非、地域医療に活かしてください。



看護部長 小山幹子

教育目的・教育プログラム



自分に合った看護をみつけるために

思い描く看護、進む道はそれぞれ。

川西赤十字病院では、キャリア開発を導入しています。

赤十字の看護職員として、必要な看護実践能力を段階的に明示し、その到達を示すことによって看護の質の向上を図ります。



一人一人に合わせた、確実な成長を支える教育

レベルⅠ 到達目標

◇指導や助言も得ながら看護ができる

当院では、プリセプターシップ体制です。ある期間、1人の新人と1人の先輩看護師が、マンツーマンで指導、育成します。

レベルⅡ 到達目標

◇自律して看護活動ができる

看護実践が単独で実施できるようになり、新人看護師さんの心理的支援や業務の熟知が目標です。

レベルⅢ 到達目標

◇部署単位で活動できる者。教育担当者

臨床実習指導者。救護班登録者

部署のリーダー的役割や責務が遂行でき、また、後輩看護師の育成等の役割ができるようになることが目標です。

レベルⅣ 到達目標

◇看護研究の実践・赤十字の推進ができる（国際救護活動）

看護専門職としての役割モデル

より専門的かつ高度な看護が目標です。例えば、認定専門看護師や国際救護への参加等。

レベルⅤ 到達目標

◇卓越した看護実践ができ医療看護の質の向上に貢献できる

教育目的・教育プログラム

平成26年度 川西赤十字病院 看護部教育計画

キャリア開発ラダー・レベル別教育計画

レベル別 教育計画	研修会名	研修のねらい
I を 目 指 す 者	新採用者研修	川西赤十字病院及び看護部の概要を知り、組織として一員としての心構えを持つ
	採血・血糖測定・静脈注射・感染防止研修	採血・血糖測定・静脈注射・感染防止に知識と技術を確認し、安全確実に実施する
	麻薬・輸血・インスリン・静脈注射研修	・麻薬・輸血、インスリン製剤の取扱い方法が分かり、指導を受けながら安全確実に実施する ・静脈注射の方法を理解し、指導を受けながら安全に実施する
	フィジカルアセスメント研修: 初級編	日常ケアに必要なフィジカルアセスメントの必要性と方法を理解する
	看護と安全研修	安全な医療が提供できるように、知識と技術を習得し事故防止に役立てる
	多重並行業務研修	多重課題・時間切迫の状況下で患者の安全を確保し、ケアの優先順位を判断し実践する
	急変時の看護研修	急変時の看護の流れを知り、チームの一員として行動する
	看護過程	看護実践の観察・アセスメント・実施・評価を行うための看護過程の展開ができる
	看護記録	看護記録の意義を理解し、マニュアルに沿った記録ができる
II を 目 指 す 者	赤十字と看護倫理	赤十字の原則を理解し、看護倫理と結び付けて考えることができる
	フィジカルアセスメント研修: 応用編	フィジカルアセスメント能力を高め、実践に結び付ける
	救護員としての赤十字看護師研修	赤十字看護師として、救護活動ができるための知識、技術を学ぶ
	コミュニケーション研修	コミュニケーション能力を向上し、業務に活かす
	メンバーシップ・リーダーシップ研修	メンバー及びリーダーの役割行動が理解し、業務に活かす
III を 目 指 す 者	看護と倫理研修	倫理的問題を客観的に分析し、解決をする能力を学ぶ
	プリセプター中間研修	プリセプターナースの役割について理解を深め、新人看護師の指導に活かすことができる
	看護研究	看護の質の改善するために必要な研究的視点を養う 看護研究に必要な倫理的視点について学ぶ
	指導者研修	指導者として対象(学生・スタッフ)のレディネスに沿った指導をすることができる
	赤十字健康生活支援研修	赤十字家庭看護法の知識・技術・指導法を学び、看護法の指導者として活動できる能力を身に付ける
	救急看護研修	救急医療に関する知識と技術を習得し、救急看護の推進者としての役割を担うことができる
	災害看護研修	災害に関する基礎知識を学び、災害看護の特殊性を理解する
IV を 目 指 す 者	リフレクション研修	リフレクションを学び、意識変容、行動変容につなげる
	看護管理研修	看護管理に必要な知識・技術を習得し、自己の立場で看護管理実践を行う
コ ー ス の 他	がん看護	がん医療の動向及び看護に必要な専門知識を習得する
	係長研修	看護係長職に必要な知識・技術・態度を習得する
コ ー ス の 他	師長研修	看護師長職に必要な知識・技術・態度を習得する
	准看護師研修	質の高い看護を実践するための知識・技術・態度を習得する
コ ー ス の 他	看護補助者研修	看護チームの一員として、看護助手業務を遂行するための知識・技術を深め、実践できるようにする

⇒当院独自プログラム 講師: 佐久大学教員

⇒当院独自プログラム 講師: 赤十字豊田看護大学教員

⇒長野赤十字病院卒後教育プログラムへ参加

日本赤十字社キャリア開発ラダー

各赤十字医療施設において、看護師一人一人が看護及び医療の質向上を図る実践者になれるよう導入された全国の日赤共通の継続的教育プログラムです。到達目標を段階的に明示して、新人の時期から生涯にわたり自己研鑽を積むことができる教育システムです。

看護職員配置部署の「紹介」と「一言」

一般病棟より



当初は分からないこと、慣れないことで不安でしたが、病棟の先輩たちが丁寧に、一つ一つ教えてくださり、仕事も順調にできるようになりました。

他病院からの受け入れもしっかりできていて、とても働きやすい職場です。

訪問看護・居宅介護支援より



病院内の看護とは違い、在宅療養をしている患者さまから学ぶことが多いです。
私達が訪問する日を待っている患者様がいらっしゃると思うと元気がでます。

外 来 よ り

患者様が病院に来て、まずお目にかかる看護師といえば私達です。

病院の顔としてがんばっています。



療養病棟より



患者様中心の
病棟づくり

包括支援センター



地域住民の皆様のお役に立つよう日夜奮闘しています

地域医療連携室より



医療機能分化と病診・病病連携の推進を背景に、入院患者様をスムーズに受け入れ、退院支援や地域連携を評価する診療報酬体系は拡大傾向にあります。

そこで、当院も、地域の病院・診療所との連携において、地域住民が満足できる橋渡しが重要であるという観点から、入院・退院支援調整部門である地域医療連携室を設置しております。

赤十字として救護活動

赤十字の活動で重要なものとして「災害救護」があります。当院も「来たるべき日」が到来しても、いつでも出動できるよう準備しております。

“いざ”という時のために、他医療施設や消防署、警察署等の関係機関との連絡は欠かせません。



講習会活動

幼児安全法講習会より



健康生活支援講習会より

医療行為に限らず、様々な形で地域社会にお役に立てるよう、がんばっています！

川西赤十字病院看護部は、 「キャリアアップ」と「働きやすい職場作り」を目指しています！

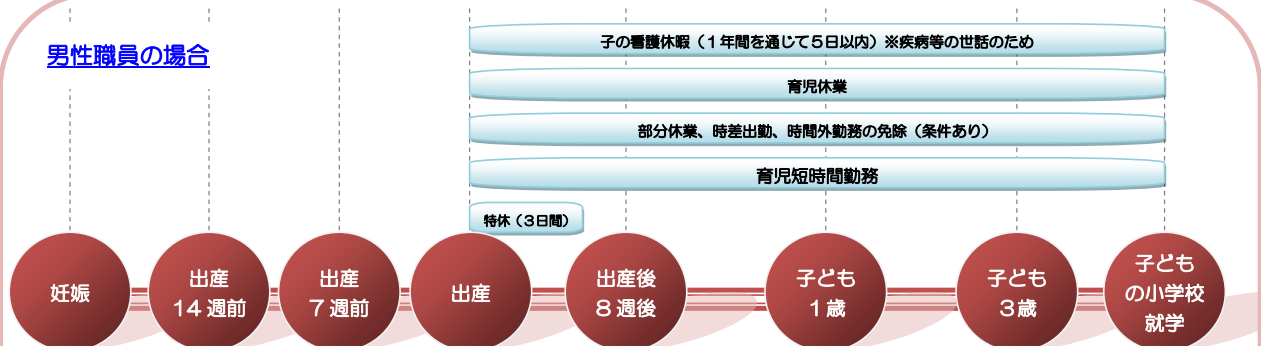
感染管理認定看護師

感染に対するリスクを最小限に抑えるために、正しくかつ効果的な感染管理、感染対策の質の向上を図ることを目的に活動しています。



川西赤十字病院の「妊娠、出産、育児のための支援制度」（正規職員モデル）

男性職員の場合



女性職員の場合

